

授業概要

日本経済の発展段階をいくつかの時期に区分して、経済の構造変化とともに政府の経済政策の焦点も大きく変化してきたダイナミクスを分析する。講義で重点を置く時期は、復興期から現在までである。戦時期と戦後混乱期の経済構造と経済政策の詳細内容は「日本経済論」で講義するので、できるだけ併せて受講してほしい。

授業計画

第1回	講義の目的と構成
第2回	前史—戦時期と戦後混乱期
第3回	復興期の経済政策（1）
第4回	復興期の経済政策（2）
第5回	高度成長期の経済政策（1）
第6回	高度成長期の経済政策（2）
第7回	高度成長期の経済政策（3）
第8回	安定成長への構造調整期の経済政策（1）
第9回	安定成長への構造調整期の経済政策（2）
第10回	バブル景気とバブル崩壊前期の経済政策（1）
第11回	バブル景気とバブル崩壊前期の経済政策（2）
第12回	バブル崩壊後期の経済政策（1）
第13回	バブル崩壊後期の経済政策（2）
第14回	日本経済の機能不全と代替的経済政策（1）
第15回	日本経済の機能不全と代替的経済政策（2）
第16回	定期試験

到達目標

- ・日本経済の構造変化とそれに伴う経済政策の変化を説明できる。
- ・日本の経済構造と経済政策の変化を示す統計の所在を知り、その読み取り方を修得する。

履修上の注意

- ・シラバス（授業計画）および統計を配布するので、毎週必ず持参すること。また一度しか配布しないので注意して下さい。
- ・シラバスには授業内容の概要しか記載されていないので、しっかりノートをとること。
- ・講義の最後に出席調査を兼ねて、その日の講義内容をまとめてもらいます。
- ・やむをえない場合を除き、欠席・遅刻は認めない。また授業中のおしゃべりは厳禁です。

予習復習

- ・シラバスとノートを利用して復習してください。
- ・特に統計の所在とその読み取り方を復習して下さい。

評価方法

- ・講義のなかで小テストをする。
- ・小テストと期末試験を総合的に判定して成績を評価する。

テキスト

- ・テキストは指定しないが、関連する資料を配付する。